

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成27年6月18日(2015.6.18)

【公開番号】特開2012-242827(P2012-242827A)

【公開日】平成24年12月10日(2012.12.10)

【年通号数】公開・登録公報2012-052

【出願番号】特願2012-100425(P2012-100425)

【国際特許分類】

G 03 G 9/08 (2006.01)

G 03 G 9/087 (2006.01)

【F I】

G 03 G 9/08 3 1 1

G 03 G 9/08

G 03 G 9/08 3 6 5

G 03 G 9/08 3 3 1

【手続補正書】

【提出日】平成27年4月22日(2015.4.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

平均径が $3 \mu m \sim 10 \mu m$ のトナー粒子を含み、このトナー粒子は、平均質量密度が $0.8 g / cm^3$ 以下であり、

前記トナー粒子が、下記構造(a)または構造(b)：

(a)コアがシェルに囲まれたコア-シェル構造であって、前記コアおよび前記シェルが、それぞれ、アモルファス樹脂、結晶性樹脂、低密度コンポジット物質、およびこれらの組み合わせからなる群から独立して選択される樹脂を含み、前記コアが前記樹脂と異なる低密度物質を含み、前記低密度物質が、溶解した気体、低密度油、低密度ポリマー、およびこれらの組み合わせからなる群から選択され、但し、前記溶解した気体は空気ではない、構造、

(b)第1の物質を含むシェルおよび第2の物質を含むコアを有するコア-シェル構造であって、前記第2の物質は、低密度カーボンナノコンポジット、多孔性鉱物および多孔性セラミックから選択され、前記第2の物質は前記第1の物質よりも低密度である、構造、

を有する、トナー組成物。

【請求項2】

前記トナー粒子は、平均径が $5 \mu m \sim 7 \mu m$ の範囲である、請求項1に記載のトナー組成物。

【請求項3】

前記シェルが多孔性であり、前記コアが多孔性である、請求項1に記載のトナー組成物。

【請求項4】

前記トナー粒子は、空隙率が $1\% \sim 80\%$ である、請求項3に記載のトナー組成物。

【請求項5】

前記トナー粒子が前記構造(a)を有する、請求項1に記載のトナー組成物。

**【請求項 6】**

前記コアが、前記低密度物質の孤立した島を備える、請求項 5 に記載のトナー組成物。